

第17回 橋本市公共下水道事業審議会 会議録

日時：平成29年11月9日（火）午後1時00分～午後2時10分

場所：橋本市役所 3階 議会委員会室

【審議会出席委員】

濱田學昭委員、上久保修委員、笹嶋邦彦委員、贅川一郎委員、寺本伸行委員、
伏原都委員、矢野佳世子委員、荻田一郎委員、加藤昌男委員

【審議会欠席委員】

乾幸八委員

【審議会内容】

1. 開会

・市長あいさつ

平成23年11月に設置し、今回17回目となりますが、下水道事業を取り巻く環境は大変厳しく、私たちにとっても年間9億5000万円の繰出しを行い、本体が大変厳しい状況の中で重荷になっています。下水道収入は5億5000万円と上がってはきているのですが、今後の人口減少による収入の減少、新興住宅地域の施設老朽化による費用の増加が問題になっています。これは下水道だけでなく上水道においても起こっており頭を悩ませる状況です。

平成31年には特別会計が企業会計に変わるということでこの基準外繰出しが大変難しい問題となってきます。その対応をどうしていこうかと考えております。下水道事業は収入不足の中で本日皆様にお集まりいただいて下水道料金のあり方について皆様にご協議いただきました今後の下水道経営に対して忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

・会長あいさつ

人口が増えない中で、下水道事業をどうしていくのか非常に大きな問題でありまして橋本市だけで解決するのが難しい問題であります。橋本市においてもどうするかを考え必要な意見を県・国によろぼうしていかなければならないし、橋本市としてできることをしていかなければならないので皆様の忌憚のないご意見をいただきたい。

・会議の公開について

傍聴人：なし

・委嘱状の交付

2. 諮問

・市長より諮問書

3. 議事

- (1) 橋本市公共下水道の現状について
- (2) 今後の審議会のスケジュール（案）について

《質疑応答》

【委員】

普及率が何%になれば使用料で賄うことができるのか。全体の 60%程度の使用者だけで負担するのはおかしい。市民全体で負担すべきではないか。

使用料を上げるより、整備を進めるための諮問をしてほしい。

【下水道課長】

本市の抱える問題の一つであると認識しています。本市の接続率は現在 82.6%まで上がってきています。当然人口から考えれば 61.3%しか普及していませんが、それは整備が遅れている現状もあると思います。まだ全体事業費の中で半分くらいしか事業が進んでいないが、今後事業を進めると赤字が膨らむという問題もあります。今後事業を続ければ下水だけでなく橋本市本体がこけてしまうという事態になりかねません。

今接続できるところだけでも接続すればいいのではないかという話もあるが我々も頑張っているいろんなことで促進しているが、やはり高齢者の壁があり、高齢化が進むと下水道に接続するお金を使えないため接続率が上がっていないというのも現状です。

【委員】

高齢者に対して補助金という考え方もある。一般会計の繰出しが 13 億くらいまでと腹をくくるのも一つである。水も空気もおいしくて子育てしやすい橋本市にするために環境整備費用として下水道に税金を使えばいいと思う。

【委員】

企業会計にいくまでこの 2 年間市はどのように考えていくのか。繰入金が出せない状況になってくるのですよね。その辺をもう少し分かりやすく説明してほしいです。

【下水道課長】

企業会計のことに関しましては次回説明したいですが、繰入れの方法については財政と話し合いを進めているので次回そこまで詳しく話せるかは分かりません。

【委員】

使用料を改定しない場合他に方法はあるのか。

【下水道課長】

繰入れをもっと減らさないと言われている状況で余地があるとすれば県に流域の負担金減額を呼びかけることはできるがそれでも使用料の改定は必要です。

【委員】

企業会計になったら管理者を置いたりする考えはあるのか。

【下水道課長】

人件費のこともあるので水道に習い市長が兼任する方向で検討していますが検討の余地はあるかと思います。

【委員】

資産に計上したら損益が変わってくるのか。

【委員】

類似都市と汚水処理経費にどうして差があるのか。

橋本市の運営は悪いということではないのか。

3. 閉会 閉会時間 午後2時10分